

# ヒメボタル 幼虫調査会

参加者  
募集!

参加費無料  
先着50名



農業公園にいる  
ヒメボタルの幼虫を  
捕まえて観察しよう!

ヒメボタルくん

どちらか  
一日のみの  
参加でもOK!

令和6年

① 11/16 (土)

- ・捕獲用トラップ設置

令和6年

② 11/23 (土)

- ・捕獲用トラップの回収
- ・捕獲した幼虫や生き物の観察
- ・調査結果のまとめ

時間：午前10時～正午頃

場所：尼崎市農業公園

※軍手ご持参ください。

※小雨決行。雨天中止。

(南西入口集合)

申込・問合せ：尼崎市環境創造課

☎ 06-6489-6301 FAX 06-6489-6300

ama-kankyo-sozo@city.amagasaki.hyogo.jp

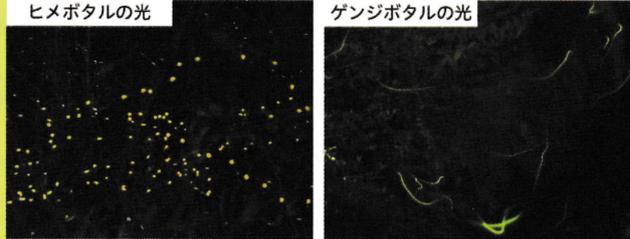
※申込期間 11/5 (火) ~ 11/15 (金)



# ヒメボタルってどんなホタル？

ホタルといえばきれいな川にすむイメージを持つ人が多いのですが、ヒメボタルは湿った林や草地など陸地に生息し、「森のホタル」とも呼ばれています。市内では農業公園や猪名川・藻川の河川敷周辺に生息しています。

ゲンジボタルとは大きさや光り方にも違いがあります。



ヒメボタル  
(本庁写真部提供)



ヒメボタルの幼虫

## ヒメボタルの一生

ヒメボタルは、5～6月に卵を土の中に産みます。

1か月後に卵からかえった幼虫は、キセルガイなどのカタツムリの仲間を食べて育ちます。

一年かけて大きくなった幼虫は冬を越してさなぎになり、成虫になってまた森の中で光るのです。

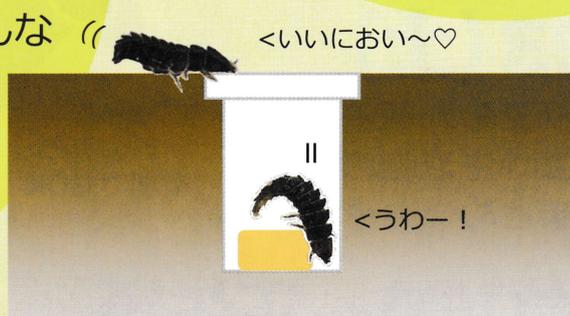


エサのキセルガイ

## 幼虫調査ってなにをするの？

穴をあけた小さなプラスチックの容器の中に幼虫の好きなエサと同じような味のするタニシなどのエサをいれて、地面に埋めます。そして、一週間後にトラップを回収します。

ヒメボタルの幼虫以外にもいろいろな虫を観察できるかもしれません。



## ヒメボタルを守るために

昔はたくさんヒメボタルが飛び交っていましたが、開発などによって湿り気が多い林や草地が少なくなり、今では数が減ってしまいました。

そこで、貴重なヒメボタルが残っている農業公園の環境をよく知るため、幼虫調査を行います。尼崎に残る貴重なヒメボタルを守る活動に、ぜひご参加下さい。

申込・問合せ：尼崎市環境創造課 ☎ 06-6489-6301 FAX 06-6489-6300  
ama-kankyo-sozo@city.amagasaki.hyogo.jp